学校番号	３０３２Ｂ

令和８年度　農業科

教科	農業	科目	果樹	単位数	１単位	年次	２年次後期
使用教科書	果樹（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，果実の生産と経営に必要な資質・能力の育成をめざします。
２・３年継続履修科目です。

２　学習の到達目標

（１）果実の生産と経営について、体系的・系統的に理解するとともに、実際に活用できる知識・技能を身に付けるようにする。
（２）果実の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として、様々な状況にも対応できる思考力・判断力・表現力などを養う。
（３）果実の生産と経営について、生産性や品質の向上が経営発展へつながるように、自ら学びに向かう力や人間性を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	果実の生産と経営について、体系的・系統的に理解しているとともに、実際に活用できる知識・技能を身に付けている。	果実の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として、さまざまな状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を身に付けている。	果実の生産と経営について、生産性や品質の向上が経営発展へつながるように、自ら学びに向かう力や人間性を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	果樹の生育と栽培環境	○土壌管理(深耕と有機物の施用) ○芽と枝の種類 ○果樹の結果習性 ○整枝・せん定	a: 土壌管理や結果習性に関する基礎的な知識を身に付け、生育特性に応じた整枝・剪定の種類や方法を理解し、その技術を適切に活用している。 b: 土壌管理や結果習性について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 土壌管理や結果習性について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レポート 単元考査	発表態度	授業観察 実習記録
	果樹の栽培管理	○ブドウ:収穫・施肥(礼肥、元肥)・せん定・誘引 ○クリ:収穫・選別・貯蔵・せん定 ○モモ:せん定 ○薬剤散布 ○果実の加工 ○後期のまとめ	a: 果樹栽培に関する基礎的な知識を身に付け、その技術を適切に活用している。 b: 果樹の種類や生育特性に応じた栽培管理について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 果樹の種類や生育特性とそれに応じた栽培管理について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	実習記録 単元考査	授業観察	授業観察 実習記録

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度